

製品名: FOG1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11059**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	ZFPM1 FOG1 ZFN89A
別名	
遺伝子 ID	161882.0
SwissProt ID	Q8IX07
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 620~700

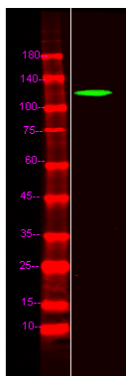
背景

ドメイン:CCHC 型ジンクフィンガー 1、5、6、および 9 は、GATA 型ジンクフィンガーに直接結合します。CCHC 型ジンクフィンガーの最後の Cys に隣接する Tyr 残基は、GATA 型ジンクフィンガーとの相互作用に不可欠です。機能:赤血球および巨核球細胞の分

化に重要な役割を果たす転写制御因子です。GATA ファミリーの転写因子 GATA1、GATA2、および GATA3 とヘテロ二量体を形成することで作用する必須の補因子です。このようなヘテロ二量体は、細胞とプロモーターの状況に応じて、転写活性を活性化または抑制することができます。GATA タンパク質と形成されるヘテロ二量体は、NFE2、ITGA2B、 α グロビンおよび β グロビンなどの遺伝子の発現を活性化するために必須であり、KLF1 の発現を抑制します。生殖腺のいくつかの遺伝子の調節に関与している可能性があります。ZFPM2/FOG2 と重複することなく、心臓の発達にも関与している可能性があります。PTM:DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性:FOG (Friend of GATA) ファミリーに属します。類似性:4つの C2H2 型ジンクフィンガーを含みます。類似性:5つの C2HC 型ジンクフィンガーを含みます。サブユニット:コリプレッサー CTBP2 と相互作用しますが、この相互作用はコリプレッサーの活性には必須ではありません(類似性による)。GATA1、GATA2、そしておそらく GATA3 の N 末端ジンクフィンガーと相互作用します。組織特異性:主に造血組織で発現します。成人の小脳、胃、リンパ節、肝臓、膵臓でも発現します。胎児の心臓、肝臓、脾臓で発現します。ドメイン:CCHC 型ジンクフィンガー 1、5、6、9 は、GATA 型ジンクフィンガーに直接結合します。CCHC 型ジンクフィンガーの最後の Cys に隣接する Tyr 残基は、GATA 型ジンクフィンガーとの相互作用に不可欠です。機能:赤血球および巨核球細胞の分化に重要な役割を果たす転写制御因子です。GATA ファミリーの転写因子 GATA1、GATA2、GATA3 とヘテロ二量体を形成することで作用する必須の補因子です。このようなヘテロ二量体は、細胞やプロモーターの状況に応じて、転写活性を活性化または抑制することができます。GATA タンパク質と形成されるヘテロ二量体は、NFE2、ITGA2B、 α グロビンおよび β グロビンなどの遺伝子の発現を活性化するために必須であり、KLF1 の発現を抑制します。生殖腺のいくつかの遺伝子の調節に関与している可能性があります。ZFPM2/FOG2 と重複することなく、心臓の発達にも関与している可能性がある。PTM:DNA 損傷時にリン酸化される(おそらく ATM または ATR による)。類似性:FOG (Friend of GATA) ファミリーに属する。類似性:4つの C2H2 型ジンクフィンガーを含む。類似性:5つの C2HC 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット:コリプレッサー CTBP2 と相互作用するが、この相互作用はコリプレッサーの活性には必須ではない(類似性による)。GATA1、GATA2、そしておそらく GATA3 の N 末端ジンクフィンガーと相互作用する。組織特異性:主に造血組織で発現する。成人の小脳、胃、リンパ節、肝臓、膵臓でも発現する。胎児の心臓、肝臓、脾臓でも発現する。

研究分野

画像データ



Hela 細胞溶解のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。